

校内研修活性化 事例紹介

—ICTを活用して効率的・効果的に—

岡山県立 岡山南支援学校

効率的・効果的に授業を観合い語り合う風土の醸成が進む取組を取材しました

3会場をオンラインでつないで
校内研修を実施中！！



岡山南支援学校 浜野教諭へインタビュー

「今回の研修ではGoogle Jamboardを活用しました。実際『意外に簡単にできてよかった』『操作を確認しながら進めるので会話が進み、コミュニケーションを取りながらみんなで進めることができた』等の声がありました。自立活動の研修においてもJamboardを取り入れていて、事前に入力してもらっておくことで、以前より研修時間を短縮することができています。ベテラン教員から指導についてを、若手教員から端末操作を教えてもらいお互いの研修にもなっています。」

【小学部】

【中学部】

【高等部】

活性化ポイント①

「各学部同時に行う演習・協議」



【全学部が各会場で同時に行っている様子】

小学部、中学部、高等部が、それぞれの会場に分かれて1人1台端末を活用しながら、遠隔で同時に研修を行いました。会場ごとに共通のGoogle Jamboardを使用しています。同じ場所になくてもZoomの画面を切り替えつつ、各学部で協議されたGoogle Jamboardの内容を確認しながら、学部代表者の発表を全体で共有することができました。

活性化ポイント②

「クラウドを活用した
授業づくり、授業改善」



【授業づくり
共有フォルダー】

自身の授業をはじめ、学習グループ、学年で取り組む学習活動等で活用する教材をクラウドに保存することで、他学年、他学部の先生も共有でき、発達段階に応じた指導・支援に生かすことができます。

【初任者の授業動画】

授業動画をクラウドに保存することで、自身の振り返りはもちろん、当日参観できなかった教師も働き方に合わせて都合のよい時間に観合うことができ、授業改善につなげることができます。

『一人の百歩より、百人の一步を目指して』という言葉のとおり、校内研究はチームで取り組みながら、適宜改善しつつよりよいものになっています。チームでの対話の積み重ねが“授業を語り合う風土”を醸成しているのだと感じました。



リーフレット
「授業を探究する学校」の
ダウンロードはこちら

